

抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 21 年 10 月 5 日	
申請者	所属科:外科	医師名:渡辺 康則
抗がん剤プロトコール内容		
略名	アービタックス+FOLFIRI	
適応臓器名	EGFR 陽性の治癒切除不能な進行・再発大腸癌	
薬剤名	セツキシマブ(遺伝子組換え)製剤 (商品名:アービタックス注射液 100mg) フルオロウラシル注射液(商品名:5-FU 注) レボホリナートカルシウム注射剤(l-LV) (商品名;アイソボリン注) 塩酸イリノテカン注(CPT-11) (商品名:カンプト注)	
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること。	
用法・用量・投与スケジュール		
<p>アービタックスは weekly で、 FOLFIRI レジメンは 2 週(14 日間)を 1 コースとして繰り返す。</p> <p>先にアービタックス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 前投薬:塩酸ジフェンヒドラミン 50mg 経口投与+生食 100ml、デカドロン 8mg (30 分) 2) 初回 生食 500ml、アービタックス 400mg/m² (体表面積) (2 時間) 2 回目以降 生食 500ml、アービタックス 250mg/m² (体表面積) (1 時間) <p>その後、FOLFIRI レジメン</p> <ol style="list-style-type: none"> 3) 前投薬:5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤+デカドロン 8~20mg 4) CPT-11 として1回 150 mg/m²(体表面積)と l-LV として1回 200 mg/ m²(体表面積)を別々のバッグに入れて同時に 2 時間かけて点滴静脈注射する。 3) その後 5-FU として1回 400 mg/m²(体表面積)を 15 分以内で急速静注し、 4) 5-FU として1回 2400 mg/m²(体表面積)を 46 時間かけて持続静注する。 		
Evidence	NCCN ガイドライン。 海外第Ⅲ相臨床試験 CRYSTAL	
備考		
がん化学療法委員会承認日: 22.1.15		

